

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p>現行どおり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホストタウン交流計画に基づく事業を実施していると認識しています。 ・小中学校における講演、交流イベントの実施や、エストニア国と事前合宿に関する協定を締結し、同国柔道チームの事前合宿を受け入れていると認識しています。 ・東京オリンピックが一年延長になったことから、少し不透明な部分が発生していると思いますが、引き続き進めるべきだと思います。 ・現行事業の取組内容は是認できますが、事業が様々な分野に及ぶため、将来的には担当部署を再検討すべきだと思います。 ・現行の事業の内容や方向性は、大いに理解でき、また賛同できるものだと思います。所管課の定める今後の取組方針をより充実させて、事業を推進して欲しいと思います。 ・外国との交流は、新型コロナウイルスの関係もあり、事業実現性が不透明です。 ・オリンピック開催が未定であり、難しいところですが、オリンピック中止と同時にやめるのは少し寂しいので、国側との連携を取りながら考えるべきだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エストニア共和国との交流を更に進めるべきと考えます。 ・子供たちに夢を与えるため、オリンピック・パラリンピアンとの交流に積極的に取り組んで欲しい。未来ある子供たちのため、トップアスリートとの交流を継続して欲しいと思います。 ・東京オリンピック終了後は、事業を部分的に廃止すべきです。 ・これまで以上に充実した取り組みにより、事業を継続して欲しいと思います。 ・東京オリンピック終了後も、名称変更等により事業を継続して欲しいと思います。 ・立派な運動施設(野球場、トラック等)、武道館のある佐久市は、これらを活用したイベントを積極的に実施して行くことが望ましいと思います。 ・子供たちのみならず、多くの市民がいろいろな方々とスポーツ交流を通じて視野が広がることは望ましい限りです。 ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会の終了を契機に所期の目的が達成したとして廃止すべきです。 ・スポーツで結果を出すのには、とても時間がかかります。焦らず新手法を取り入れながらコツコツ続けることが大切なので、頑張ってもらいたいと思います。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p>現行どおり</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、東京2020大会の開催は不透明な部分がありますが、開催を前提にホストタウン交流計画に基づく事業を進めてまいります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会終了後は、交流事業規模は縮小しますが、オリンピック・パラリンピアンと市民との交流事業や障がい者スポーツ体験学習などは、今後も関係団体のイベント事業などを取り入れながら積極的な取組みをしていきます。 ・庁内関係各課と連携し、スポーツ交流や子ども交流等を通じて、エストニア共和国との更なる友好関係の構築に努めてまいります。 ・プロスポーツの試合や全国規模のスポーツ大会、高校・大学のスポーツ合宿など、市内体育施設を活用したイベント等を積極的に誘致・開催してまいります。 ・競技技術の向上を目的としたスポーツ教室の開催やトップアスリートのプレーに触れる機会などの充実を図り、指導者の育成と競技力の向上に努めてまいります。